

人形物語

竹久夢二

青空文庫

1

あるちいさな女の児と、大きな人形とが、ある日お花さんのおうちをたずねました。

ところが その女の児は、それはもうほんとに、ちいさな女の児で、その人形はまた、それはそれはすばらしい大きな人形だったのです。

それゆえ、お取次に出た女中には、人形だけしか眼に入らなかつたのです。女中はおどろいてお花さんに、

「まあお嬢さま！　大きなお人形さんがお嬢さまに逢いにいらつ

しやいましたよ」と言いました。

2

「玉ちゃん」茶の間で、お母様の声がする。

「はあ」と愛想よく玉ちゃんは答えました。

「後生ですから、そこから鉢はさみをもつてきて頂ちようだい戴だいな、ね」
こんどはだまつていましたが、いそいでそこにあつた人形を抱きあげて、

「あたし、いま、人形におっぱいあげていますの……」
と言いました。暫しばらくすると可愛かあい子守こもりうた唄うたがきこえて来ました。

ねんねしなされまだ日はたかい。

暮れりやお寺の鐘がなある。

3

お冬^{ふゆ}さんの人形は病氣でした。

ちいさなお医者様は、大きな時計を出して、人形の脈をとりながら「ははあ」と小首をかたげました。

お冬さんは、心もとなさに、

「先生、いかがでございましたよう」

とたずねました。先生は手を拭^ふきながら、

「なあに、ちよつとした風邪ですから御心配には及びません。お子様方は夜おやすみの時、おなかを出さないように気をつけて下さい」

と言いました。

青空文庫情報

底本：「童話集 春」小学館文庫、小学館

2004（平成16）年8月1日初版第1刷発行

底本の親本：「童話 春」研究社

1926（大正15）年12月

入力：noir

校正：noriko saito

2006年7月2日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

人形物語

竹久夢二

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>